

区分	意見要旨	市の考え方
1 全般	基本構想で概算規模等は決定済みとのことだが、今後、導入する行政機能や施設面積は変更できないのか。 (白紙に戻して議論できないか)	市民意見には、立派な施設を望む意見がある一方、人口減少を考え将来負担をできるだけ小さくすべきなど様々な意見もございます。 市としては、複合化を目指している施設での公共サービスは維持・向上させるべきとの考えでありますので、財政負担を極力抑えつつ、必要な面積を確保できるよう基本構想を策定したところであります。 施設規模につきましては、利用状況を詳細に分析した結果、適正規模であるとの結論に至っており、また、延床面積の大幅な増加は建設費や維持管理費に直接的に関わる問題であることから、大幅な変更は予定しておりません。
2 全般	複合施設には、市民はもとより他市からも来館していただき、湯沢市にお金を落としてもらうような施設にするべき。	公共施設のほか、民間商業施設なども誘致し、魅力的なエリアを創造していきたいと考えておりますので、市民意見のほか、民間事業者の意見、提案なども参考にしながら検討してまいります。
3 全般	本事業は、及第点ではあるものの「夢のある将来像」が見えてこない。 もっと市民がワクワクする事業にすべきではないか。	本事業は、市民サービスの向上と中心部のにぎわいづくりを目的に進めている事業です。既存の行政機能の複合化が中心となった計画であるため、斬新さと目新しさに欠け、ワクワク感が感じられないのご指摘かと思っておりますが、今後とも民間機能の可能性を探っていくことに加えて、複合施設で提供するサービス（事業展開）の充実強化や、中心商店街と連携したにぎわい創出策の具体化など、まちに元気をもたらす仕掛けづくりを官民連携で進め、市民の皆様にも納得いただけるよう取り組んでまいります。
4 全般	立派な施設を期待している方々が多いと思うが、人口が減っていくので、子や孫など将来世代に大きな借金を残すことは避けなければならない。	必要な機能や規模を確保しつつ、無駄なスペースや華美なデザイン等は極力避けたいと考えています。 市では今回、最少の経費で最大の効果を発揮する（より少ない経費で良いサービスを提供する）ため、PPP/PFI手法での整備・運営を想定し、準備を進めています。
5 施設規模	現在よりも面積が狭くなると使い勝手が悪くなるので、もっと大きな施設を整備すべきではないか。 施設面積はどのように設定したのか。	施設の面積は、現在の利用状況を精査し、利用者が活動できる環境を確保しつつ、あまり過大とならないように設定したものです。 具体例として生涯学習センターの場合、各部屋の稼働率や、1回当たりの利用規模、年間利用日数、主な活動内容などを詳細に分析し、新施設では「どんな活動に、何人規模で、どの位の利用頻度で使用するか」という観点で諸室を検討しています。 これにより、必要な規模は十分に確保していると考えており、また、利用者の利便性や快適性については、諸室の配置や管理運営などを工夫しながらサービスの向上に努めてまいります。

区分	意見要旨	市の考え方
6 施設規模	規模を大きくすれば、コストが掛かり増しになる。人口減少下では、できるだけコストを抑えた施設にすべきである。	基本計画の中で概算事業費を算出いたしますが、整備費用に加え維持管理費についても後年度の負担を可能な限り減らすよう検討してまいります。
7 利用率	現在の利用率を更に伸ばしていくように考えるべきではないか。	複合施設は、多くの人々が集い・交流し、まちに賑わいをもたらすことを基本理念としています。導入する各機能について、事業・サービス展開をこれまで以上に充実させ、今まで施設を利用したことがない方々も含めて多くの皆様が利用したくなる拠点づくりを目指します。
8 管理運営	子育て支援機能について、山形県にある施設では民間企業が運営している事例が多い。行政だけでやるのではなく、民間のノウハウ・専門性を活用していくべきではないか。	管理運営のみならず、できるだけ多くの部分において民間事業者の専門性やアイデアを活用したいと考えています。 具体的には、サービス向上とコスト節減の両立を目指すため、施設の設計・建設・維持管理・運営を1つの事業者（あるいは1つのグループ）に一括して発注する方向で検討を進めています。
9 管理運営	管理は民間企業に任せるとしても、事業の企画立案に市民が関わる仕組みづくりが必要。	事業の企画立案に市民が関わる仕組みづくりは市が中心となって検討する必要があります。利用者団体等の意見をお聞きしながら実現できるよう進めてまいります。
10 歴史展示	本来であれば、歴史資料館は単独で整備すべきであり、それが昔からの悲願である。なぜ、駅前の複合施設に小規模で整備することになったのか。	歴史資料館の単独整備に関する要望は承知していますが、市の財政事情では要望内容にある単独整備は困難と考えています。しかしながら、市民が市の歴史を学べる場、稲庭城や院内銀山異人館等の歴史資料展示施設へとつなぐサテライト拠点については必要性を感じており、「歴史資料保存・展示のあり方に関する提言書（R2.4月）」を受け、庁内議論を経て複合施設内に展示機能を導入することとしました。
11 民間施設	民間可能性調査の結果、意欲的な民間事業者がない場合でも、行政が主導して民間参入を促すべきではないか。そうしないとまちに活気は生まれにくい。	民間収益施設の誘致については、民間事業者による独立採算を基本としております。しかしながら、民設民営による事業者の参入が見込めない場合には、にぎわい創出、公共施設との相乗効果、利便性の向上などを総合的に勘案し、行政が施設整備を行って民間事業者へ店舗を貸付する方法も含めて検討していきます。
12 民間施設	民間可能性調査の対象企業は全国的な大手企業を想定しているようだが、地元企業からもテナントの意向調査をするべき。	現状、同種の事業実績がある大手企業を主体として調査を進めています。より広く可能性を探る観点から、市内商工団体と連携して、市内事業者の皆様へ本事業を周知し、駅前におけるテナント営業などの意向や関心を調査します。

区分	意見要旨	市の考え方
13 対象用地	現在対象としている公有地（1ha）に隣接する民有地を市が買い取って活用すればいいのではないかと。	敷地については、現在の1haの土地の中で複合施設を整備したいと考えています。誘致できる民間事業者が決まっていないため、土地の過不足、配置計画は今後の検討課題となっており、事業が具体化する中で方針を再整理してまいります。
14 対象用地	対象用地内にある除雪車格納庫が計画に反映されていない。格納庫を考慮した土地利用計画にすべきである。	複合施設を整備後も除雪機格納庫は継続使用する方針ですので、除雪車の通路を考慮した土地利用計画になるよう検討を進めます。
15 その他	住み続けたいまちの実現に向けて、若い年齢層の意見を複合施設に反映してほしい。	「湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進条例」により、市民アンケートの際には、若者や女性の声を多くいただけるように工夫しています。今後も、様々な立場や世代、地域の皆様からバランスよくご意見を伺えるよう多様な機会を設けてまいります。
16 その他	市民会議の資料として、諸室の配置計画（配置図）を提供することは可能か。	以下の理由により、現時点で諸室の配置図をお示しすることは困難です。 ○民間施設の動向次第で、公共施設と民間施設は合築か分棟か、合築するとすれば何階のどこに配置するのかなど、不確定要素が多い状況です。 ○本事業はPPP/PFI事業を想定しており、市は必要最小限の要求水準（設計水準）を示した上で、民間ノウハウによる提案を受け付ける流れとなります。最終的にどの部屋を何階に配置するかは、民間からの提案書受理後（早くても令和5年度前半）に明らかになる見込みです。